



往還通信



往還風景

和太鼓勇舞

1月7日



和太鼓勇舞は、30代を中心に小学3年から5年まで合わせて21名で、活動6年目になるグループです。演奏終了後、利用者様も参加して一緒に太鼓をたたいて楽しめました。



水上陽一さんによるギター演奏



1月11日



BIG BLUE OCEAN
蘇州夜曲
涙そうそう
見上げてごらん夜の星などの演奏を聞かせていただきました。

2月の施設行事



- 2月17日(火) 音楽療法 3階、ショート対象
- 2月18日(水) 音楽療法 2階、ショート対象
- 2月14日(土) ゴスペルコンサート

2月のクラブ活動

- 12日(木) 書道クラブ
- 20日(金) 手作りクラブ
- 23日(月) カラオケクラブ
- 26日(木) 書道クラブ
- 27日(金) お花クラブ



3月施設行事

未定

お茶会

1月21日(水)



ふだんとはまた、ちがった雰囲気の中で利用者様にお茶を楽しんでいただきました。



おいしい和菓子と抹茶をいただきました。

かくし芸

1月28日(水)



ユニットごとに歌や変え唄を歌ったり、小劇をしたり、歌にあわせてハンドベルの演奏を披露していただきました。少し緊張された様子でしたが、楽しいひとときを過ごしていただきました。

藤ユニット



菊ユニット



蒿ユニット



花水木・花菖蒲 (ショート)



皐月ユニット



桜ユニット





インフルエンザ予防対策



東京都の老人病院でインフルエンザが集団発生し入院患者3人が死亡したニュースが報道されました。

毎年集団感染のニュースが報道されるたびに往還の対応は十分なのか、ワクチン接種はしてあるもののワクチンが効かない場合はどう対処するのか不安になることがあります。特に体の弱った方が入所されている老人施設では集団発生は重大な事態に発展するからです。閉鎖された施設では一人が感染すると瞬く間に広がってしまいます。往還のスタッフならびに入所者には定期的なワクチン接種がなされており、臨床研究から医療従事者のワクチン接種が患者の全死亡数とインフルエンザ様疾病数の減少に大きく関連していることは分かっていますが、全く発生しないわけではないからです。

インフルエンザウイルスの感染経路は飛沫などによる経気道感染ですが、感染者が咳をしたときなどの飛沫は最大で1m程度の範囲で落下します。したがって施設内ではインフルエンザ感染の疑われる症例について、個室隔離にしておいて、ケアするスタッフは全員が常時マスクを着用し、手洗いを励行することが基本となります。

インフルエンザにかかった入居者の飛沫予防策を実施することだけでなく、インフルエンザに罹患したスタッフも基本的に患者ケア業務から除外することが望まれます。しかしながらインフルエンザの流行期間にこれらを実施することには、現状から見て多くの場合、現実的には困難だと思われる。スタッフ全員がワクチン接種を受けインフルエンザに罹患するリスクを低減し、手洗い、うがい、マスクをすること、これが集団発生のリスクを押さえる望ましい方策だと考えています。

こめだ腎・泌尿器科 米田 勝紀

編集部より

1月もいろいろな行事があり、あっという間に過ぎてしまった感じがします。まだまだ寒さは続きそうですが、元気でこの寒さをのりきりましょう。また、新しいクラブもはじまりいろいろと企画もしておりますので、多くの方の参加をお待ちしています。

新しいクラブ紹介

1月20日 第1回目



今月から新しいクラブ活動が始まりました。「カラオケクラブ」です。参加された皆さんは歌の大好きな方ばかりで、思わずマイクをにぎったら離さないという様子も見られました。今後も皆さんの参加をお待ちしております。



朝日中学校職場体験

1月19・20日 朝日中学2年生の生徒2名が職場体験学習にやってきました。各ユニットに入って利用者様とお話をしたり、カラオケクラブのお手伝いや食事の準備、かるた取りなどのレクリエーションをして楽しく過ごしました。



往還神社歳旦祭

1月17日



昨年同様、地元氏神様である井後(いじり)神社宮司の桐山さんに来ていただき、往還神社、少し遅れの「歳旦祭」「大麻頒布祭」を行いました。ねぎさん(宮司さんを地元では、この様に呼ぶ)に祝詞をあげていただき、職員、入所者は「玉串奉奠」を行いました。

又、往還神社をお参りした方の賽銭を奉納しました。

往還のホームページを開設いたしました。ぜひ、ご覧になってください。



ホームページアドレス <http://care-net.biz/24/oukan>